

沖縄への理解を深めて
小さな資料館を開設

沖縄についての理解を深めてもらおうとその現状や歴史などを紹介した「狛江 小さな沖縄資料館」が注目を集めている。

「喜多見と狛江の小さな映画祭」などのイベントを手がける俳優の高山正樹さん(65)が営む岩戸北4-10-7の会社の一画約30㎡に昨年秋に開設した資料館には書籍や写真などが歴史、民族、芸能、文学などのコーナーに分けて展示されている。中央に置かれたガジュマルのオブジェが資料へ向けて枝を伸ばし有機的に絡まる演出も施され、沖縄特有の赤煉瓦の模型、大きな貝殻も置かれている。

また、資料館開設のきっかけとなったコザ騒動の写真などで知ら



沖縄資料館と高山さん

れる沖縄の報道カメラマン大城弘明さんと山城博明さんの写真や、近くにある沖縄県の男子学生寮「南灯寮」のコーナーもある。

東京生まれの高山さんは、演じた役を通して20代前半からアイヌや沖縄について関心を持ち、脚本執筆のために資料を読むうちに「沖縄についてもっと知り、考える義務がある」と考えるとともに、三線や沖縄言葉もマスターした。

演劇活動のかたわら、平成19年に狛江市内で会社を設立。狛江市民に沖縄について知ってもらおうと、スタッフの宇夫方路さんが琉球舞踊を教えたり、沖縄語を話す会、三線教室を開いている。さらに「喜多見と狛江の小さな映画祭」を催して、沖縄映画を紹介したり、本土復帰50年にあたる昨年はえきまえ広場で沖縄をテーマにしたイベント「かじうむい(風思い)」を開催するなどの活動を精力的に行ってきた。

資料館は当初、期間限定の予定だったが、昨年末に高山さんがガンにかかったことがわかり、「生きている限り続けたい」と期限を

心のふるさとコンサート

狛江稲門会(上村邦雄会長)が25日(日)午後1時30分からエコルマホールで創立25周年を記念して「心のふるさとコンサート」を開催する。

同会は市内在住または在勤の早稲田大学卒業生とその家族で構成する親睦団体で、母校の発展に貢献するとともに狛江市の文化・教育・福祉の向上への寄与を目的に平成10年に発足した。現在約100人の会員が早稲田サロン、英語サロン、俳句サロン、ゴルフ迷球会、ハイキングクラブなど9つの交流活動を行っている。

当日は第1部として創立25周年記念式典を開催、第2部の記念コンサートには、同大男声合唱団「早稲田大学グリーンクラブ」と「早稲田大学交響楽団」が出演、同大の応援歌をはじめ歌謡曲、映画音楽、クラシックなどを約95分にわたって演奏する。コンサートはだれでも無料で入場できるほか、同大について知ってもらうため、市内の小中学生数十人を招待する予定だ。

問い合わせ ☎090-1551-9978 または M.kamimura@knd.biglobe.ne.jp 上村さん。



スポーツ

設けず無料公開するとともに、資料の収集も続けている。

問い合わせ ☎3489-2246 「M.A.P.」内 小さな沖縄資料館。

羽生九段、大西七段が講演
初の文化講演会が開催

第1回 狛江市文化講演会(狛江市文化講演推進会主催、狛江市、狛江市教育委員会共催)が4月22日(日)にエコルマホールで催された。



羽生九段

この講演会は、狛江らしい文化の創造と情操と創造力を有する心豊かな市民生活を送ることを目的に初めて開催されたもの。事前の参加募集には多数の申し込みがあり、会場はほぼ満席となった。

講演では、将棋の7タイトルの永世資格を持ち、平成30年に国民栄誉賞を受けた羽生善治九段が「決断力を磨く」と題して、現在も将棋界の第一線で活躍する強さの秘密など貴重なエピソードを交えながら語った。

また、囲碁界の若手のホープとして注目を集めている狛江市出身の大西竜平七段が囲碁をはじめ狛江に関することなどを一問一答形式で話した。



大西七段

災害のない街づくりめざし
消防庁音楽隊が駅前音楽会

災害のない街づくりをめざそうと5月14日(日)に狛江駅北口交通広場で東京消防庁音楽隊による「駅前音楽会」(東京たまがわロータリークラブ主催)が催された。

この音楽会は、阪神・淡路大震災をきっかけに、音楽を通して防災への意識を高めようと東京狛江ロータリークラブが開催していた

Shop & Service Guide ...24
いらっしやいませ
ビオズ
BIOZU



エリーデザイン会社に移り、デザインから加工まで行うようになった。自宅で作業することが増え、作業の音を聞いた近所の人などからリフォームなどの依頼を受けるようになったため、平成17年に自宅をリフォームして工房を作り、独立した。



今村さん

BIOZUはオリジナルジュエリーの製作、古いジュエリーの修理やリフォームを行う宝石・貴金属加工専門店。

オーナーの今村有良さん(57)の住宅の半地下に設けた店舗には、しゃれた戸棚が並び、宝飾加工で30数年の経験を持つ今村さんがデザインしたペンダントやネックレス、ブローチ、指輪などが飾られており、奥には様々な工具などを備えた工房がある。

今村さんは神奈川県生まれで、幼い頃は時計の金属バンドを作っていた父親の工場で遊び、見よう見まねで金属加工にもチャレンジ、物作りの仕事を志すようになった。

成人してからは貴金属材料を卸す会社に勤めた後、宝石・貴金属リフォームを行う会社に転職、さらにジュ

高い技術のオリジナルジュエリー
古い宝石を現代風にリフォーム



BIOZUの店内

☎3488-8624 東和泉1-32-5、営業時間=午前11時~午後6時(午後1~2時は休み)。月・火曜日休み

が、同RCの解散により、昨年からたまがわRCが引き継いだ。

日本初の消防音楽隊として創立され、74年の歴史を持つ東京消防庁音楽隊がキャプテン・ジェネラル、セントルイス・ブルース・マーチ、ハナミズキ、ゲゲゲの鬼



駅前音楽会

太郎ファンクバージョン、ドラえもん、となりのトトロコレクションなど子どもから大人まで楽しめるバラエティーに富んだ6曲を約1時間にわたって演奏。道行く人たちも足を止めて迫力のある生演奏に聴き入っていた。

気をつけて身近な危険物
4日から危険物安全週間

4日(日)~10日(土)は「危険物安全週間」。

危険物は、工場などに限らず身近な様々なものに使用されている。

代表的なものでは、自動車の燃料となるガソリンや軽油、ストーブの燃料として使われる灯油がある。そのほか、化粧品や制汗スプレー、消毒薬にも危険物が使用されているものがある。これらの製品は便利な反面、取扱方法を誤ると大きな危険を招くことがある。

狛江消防署では危険物安全週間を機会に「身の回りの危険物」を確認し、安全な方法で使うことを心掛けるよう呼びかけている。

問い合わせ ☎3480-0119 狛江消防署予防課危険物係。

